

### 1 登録状況

	期間	登録者数	所属課所
第1期	2/26-5/31	28名	11課所
第2期	6/1-9/30	52名	17課所

※第2期の登録者の所属課所（●は初登録）

- 秘書広報課、政策課、資産戦略課、職員課、情報推進課、健康保険医療課、  
 ●保育サポート課、都市整備課、建築課、●道路安全課、●公共交通政策室  
 ●生涯学習課、●スポーツ青少年課、●会計課、●企業経営課、  
 選管・監査・公平、議事課

### 2 在宅勤務におけるテレワーク環境の利用状況（2月26日～9月30日）

期間	実施回数					未実施 ※
	合計	16回以上	11～15回	6～10回	1～5回	
第1期	22名 (132回)	2名 (50回)	1名 (12回)	4名 (30回)	15名 (40回)	7名
第2期	45名 (256回)	4名 (74回)	2名 (27回)	10名 (78回)	29名 (77回)	7名

※短時間のテレワークシステム利用を実施した者を含む。

### 3 テレワークで実施した業務内容（主なものを集計）

- (1) 資料作成（計画案、会議資料、会議録）
- (2) 照会、依頼等に対する事務処理
- (3) オンライン会議への出席 ※Zoom等を利用した会議参加
- (4) 職員用端末から利用可能な業務システムでの事務処理
  - ①サイトパブリス（和光市ホームページの更新作業）
  - ②財務会計システム（財務会計処理、予算入力、伝票作成等）
  - ③サイボウズ（スケジュール、メール、掲示板）
- (5) 業者、外部の者との連絡調整
- (6) Web研修・セミナー受講

### 4 テレワークにおける課題（アンケート回答から）

#### (1) ネットワークレスポンスについて

全く問題ない	29名
たまに接続が切れたり操作が重い時があるが使用には問題ない	16名
接続が切れたり操作が重いことが多い	0名
業務に影響があるほど操作が重い	0名
その他	4名

※下記グラフから、現在の利用者数では回線負荷に大きな影響が生じていないと考えられる。  
 11月21日（日）20時に検証参加者の協力による30名程度の回線負荷テストを実施予定。

#### (2) テレワークの実施しやすさ（職場環境）

実施しやすい環境	25名
どちらかというの実施しやすい環境	13名
どちらかというの実施しづらい環境	9名
実施しづらい環境	2名

#### (3) テレワークに係る課題（自由記入欄から抜粋）

- ・出勤職員に窓口、電話対応等の業務負担が大きくなる
- ・休暇取得、現場、出張等とテレワークによる不在を踏まえた出勤職員の在席調整が必要となる
- ・テレワーク中に電話連絡を行う場合、個人携帯電話をしなければならない
- ・テレワークに対する職場の理解が十分でない
- ・テレワーク中は業務時間の境界があいまいになり、時間外にオーバーワークする傾向がある
- ・在席職員とのコミュニケーションにおいて、LOGOチャットの利用に差がある
- ・テレワーク従事者に対する管理職員の業務管理、監督
- ・在席職員との打合せにWeb会議が利用できない

### 5 今後の取り組みの方向性

- (1) コロナ後の状況に対し、服務規程、勤務条件等、テレワークの位置づけについて検討する。
- (2) 次年度も現環境の継続利用によるテレワーク実施を目指す。

